

第14回 観峰館オンライン講座

ちょっと本格的な 掛軸の保存と修理

Vol. 2 修理と修復って何が違うの？

観峰館 古橋慶三

本日の講座概要

- 1, 修理と修復の違いについて
- 2, ワンポイント修理 「軸先の付け方」
- 3, 修理計画 「診断書を作る」
- 4, 掛軸の解体
- 5, ご意見を伺うコーナー
- 6, まとめ



1, 修理と修復の違いについて

言葉としての「修理」は、機械や道具などの壊れた部分を改修して「機能を回復する」などの意味があります。

「修復」は、どちらかということ建物や美術品に使われることが多い言葉で、機能だけでなく姿も元の通りにする、という意味合いが大きいです。特に絵画や彫刻などでは「作られた当初の姿に戻す」行為をいう感じです。

この講座では、傷んだところを現時点までの補修をめざすという意味で、「修理」という言葉にしました。

2, ワンポイント修理 「軸先の付け方」

じく
「軸」

とは、物の中心で支えになる部分。

回転の中心で、運動を伝える装置。 ですが

「掛け軸」 の 軸 は、**書画を巻き取る中心**（支える）部分
であり、掛けた（ぶら下げた）ときの**重り**（**安定させる**）
装置です。

掛軸の軸は上下2本あります。

下のは「軸」または「しもじく下軸」

(本体は裂に隠れて見えません)

かみじく
上の軸は「上軸」または
はっそう「八双」 はっそう「はんげつ発装」
断面の形から「半月」

じくさき
軸先



軸先の取付方

掛軸の傷みの要素として多い

- ・ 軸先がとれて無くなってしまった
- ・ 軸先を付けていた棒が折れちゃった

軸先の取付方

- Q, 手元に軸先が残っている場合は

A, 元通りに付けてあげましょう！

- Q, 片方、両方とも、無くなっている場合は

A, 軸先だけ買って付けてあげましょう！

軸先の取付方

こんな方法もあります！！

を

動画で紹介します。

3 , 修理計画 「診断書を作る」

傷みの箇所と程度を把握する。

3 , 修理計画 「診断書を作る」

傷みの箇所と程度を把握する。



傷みの原因を見つける

3, 修理計画 「診断書を作る」

傷みの箇所と程度を把握する。



傷みの原因を見つける

- 湿気のせい？
- 扱い方のせい？
- 劣化のせい？

3, 修理計画 「診断書を作る」

傷みの箇所と程度を把握する。



傷みの原因を見つける



修理の方法を決める

3, 修理計画 「診断書を作る」

傷みの箇所と程度を把握する。



傷みの原因を見つける



修理の方法を決める

- ・ 自分で直せる
- ・ 表具屋さん依頼する

3, 修理計画 「診断書を作る」

傷みの箇所と程度を把握する。



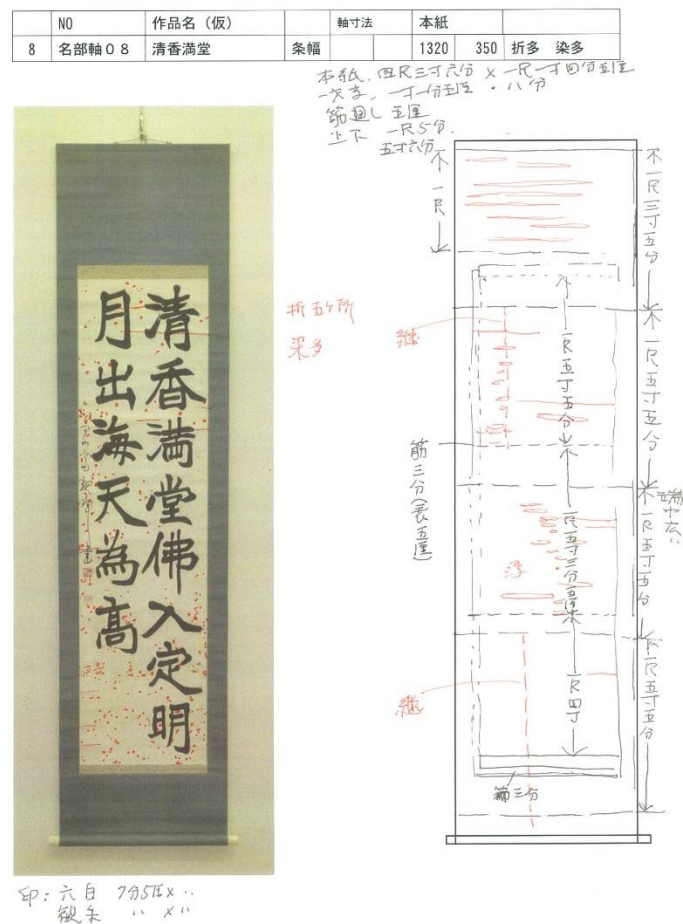
傷みの原因を見つける



修理の方法を決める

- ・ 自分で直せる
- ・ 表具屋さんに依頼する（誰に？）

3, 修理計画 「診断書を作る」



4 , 掛軸の解体

「掛軸の仕立て」の逆手順

4 , 掛軸の解体

「掛軸の仕立て」の逆手順

『可逆性』があるため可能

4 , 掛軸の解体

『可逆性』

- 天然の素材
- 伝統の技法
- 正確な技術

4 , 掛軸の解体

『可逆性』

- 天然の素材 紙 ・ 糊 ・ 裂 ・ 木 ・ 金物
- 伝統の技法
- 正確な技術

4, 掛軸の解体

『可逆性』

・ 天然の素材 紙 ・ 糊 ・ 裂 ・ 木 ・ 金物

天然植物繊維（三俣、楮など）

小麦粉でんぷん糊（生麴糊、沈糊、古糊）

- ・ 伝統の技法
- ・ 正確な技術

4, 掛軸の解体

『可逆性』

- ・ 天然の素材
- ・ 伝統の技法
- ・ 正確な技術

鎌倉室町時代からの技法

起源は中国？

職人が代々技法と技術を継承した
令和の現代でも 同じ工程で作られている

4, 掛軸の解体

『可逆性』

- ・ 天然の素材
 - ・ 伝統の技法
 - ・ 正確な技術 技術は個人の技量
- 正しい理解と工夫
新しい技術の利用

4 , 掛軸の解体

では、動画で
『解体』の様子をご紹介します。

5 , ご意見を伺うコーナー

皆様のご意見・感想をお寄せください。

ご質問も承ります。

まとめ

- きちんと作られた掛軸は、修理をすることができる
『可逆性』 がある （元に戻して、もう一度同じように
掛けることができる）
- 次回の、このシリーズでは
「裏打ち紙の剥がし方」についてお話します。

次回の 観峰館オンライン講座

10月5日（火）9時30分～ 30分程度

秋季特別企画展のここに注目！②

秋季特別企画展の出品作品を取り上げます。第二回は、巖谷一六の作品を紹介します。

10月19日（火）9時30分～ 1時間程度

秋季特別企画展のご紹介② 展示作品について

10月26日（火） 10時30分～ 1時間程度

ちょっと本格的な 掛軸の保存と修理③ 本紙の肌上げ

を予定しています。 どうぞご参加ください。